

ホームページ <http://www.hakumon-butsuri.com/>

発行所 中央大学白門物理会
〒112-8551
東京都文京区春日 1-13-27
中央大学 理工学部
物理学科準備室
杉本 秀彦 先生
杉本 守夫 先生
杉本 守夫 先生
03-3817-1767
03-3817-1792
FAX 03-3817-1792
E-mail hakumon@phys.chuo-u.ac.jp

中央大学校歌

作詞 石川道雄
作曲 坂本良隆
編曲 三木 稔

一 草のみどりに風薫る
丘に目映き白門を
慕い集える若人が
真理の道に歩みつつ
栄えある歴史を承け伝う
ああ中央、われらが中央
中央の名よ光あれ

二 よしや嵐は荒ぶとも
揺るがぬ意気ぞいや昂く
春の驕奢の花ならで
みよりの秋やめさすらむ
学びの園こそ豊かなれ
ああ中央、われらが中央
中央の名よ誉あれ

三 いざ起て友よ時は今
新しき世のあざむけ
胸に血潮の高鳴りや
湧く歌声も晴れやかに
自由の天地を駆けゆく
ああ中央、われらが中央
中央の名よ栄あれ

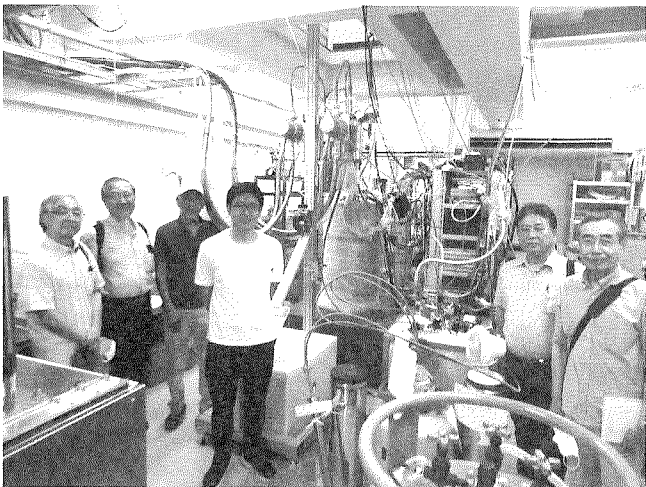
研究室訪問
極限環境の物性実験を推進

極限凝縮系物性研究室 橋高俊一郎准教授を訪ねて

2024年版の「理工学部ガイドブック」にこの研究室のひとりが学部生・大学院生として紹介されている。Iさんは「物理学で培った科学的・理論的な思考を生かして自動車の設計・開発に携わるのが目標です。この大きな目標のため実験で使用する微小結晶用高感度熱量計の開発に力をいれています。」と述べている。

研究室の紹介
7月のオープンキャンパスで紹介された研究室の概要によれば、20年春に中央大学に新たに開設された研究室は新奇な量子現象の解明を目指して極限環境における物性実験を推進している。超低温環境にして熱ゆらぎをおさえると一般に量子効果が顕著になる。さらに磁場や圧力などの外部パラ

メーターを用いて量子現象を制御することによりその発現と密接に関係する情報を得ることが出来る。複数の外部パラメーターを極限的な条件にまで制御した物性測定を行い非従来型超伝導や新奇現象の研究を進める。オリジナル装置の開発や独自の研究アプローチを重視してユニークな物性実験に挑戦している。



1441号室にある装置の前で橋高先生とともに
(天井の四角い穴は5階の1541号室とつながっている)

研究の内容

自然現象の基本である3つの極限環境とは何かをみてみよう。

①温度 絶対零度はマイナス273.15度C、この状態ではいろいろな現象がおり、そのひとつが電気抵抗ゼロの超伝導現象である。さらに0.02K以下の超低温での研究をする。ちなみに1913年にカマリン・オネスが水銀の電気抵抗がマイナス269度Cでゼロになるのを発見し、ノーベル賞を受賞している。

②磁場 強い磁場の中では大きな変化がおこり、磁場の向きで性質が変わるものもある。地磁気の10万倍を超える磁場を制御するなど物理現象のメカニズム解明に取り組んでいる。

③圧力 地球の中心は360万気圧といわれる。圧力をかけると原子間の距離が縮まり、物質の性質も変わる。大気圧の10万倍もの状況での実験も行う。

このように極低温のなかで、さらに強磁場、高圧力を加えた諸実験を行っている。

実験の様子
前述の条件を再現させ、計測させたりするための研究室は実に設備が多彩である。希釈冷凍機、ヘリウム再凝縮装置、圧力セル、超

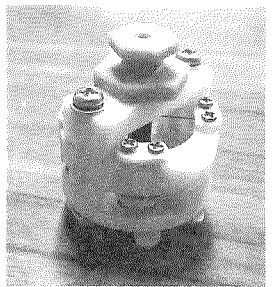
伝導マグネットなどメーカーの工場顔負けの装置が所狭しと並ぶ。

このなかでとくに目をひくことはそれぞれの実験のために独自の装置があること、そして自作のものが豊富にあることだ。学生の作品も多数見受けられる。この写真の膨張計も研究室の学生の手作りになるものだ。圧力セルは最高圧力10万気圧に耐えるものであり試作部品を設備のひとつである3Dプリンターにより作成することもある。

最近の学外発表・受賞
中大での活躍に加えて「日本物理学会」での活躍も顕著である。23年7月には北大で「アシンメトリ量子物質をいかに可視化するか」の研究発表。また東北大での日本物理学会の年次大会で助教、学生とともに口頭発表を行った。年間をとると数多くの研究発表は学会、論文と実に多彩である。

先生は20年4月には科学技術分野での文科大臣表彰若手科学者賞を受賞されている。

新1号館へ
いまま後楽園キャンパスでは理工学部の新1号館があらたに建設中である。これによつて橋高研究室も移転することになる。現在の研究室は5階の1541号室の床に1メートル四方より大きい穴をあけて真下の4階にある1441号室と2つの部屋をつないで使う連結型の部屋となっている。実験に使う液体ヘリウムの凝



手作りの膨張計

縮装置などに上下垂直の構造が必要なのである。2025年ごろには新しい装いの研究室をどんな形で目にする事ができるだろうか。楽しみである。

この取材は一度悪天候のため延期をして先生への訪問日を設定したものの、訪問日には念願かなって好天に恵まれ、鋭意建設中の新1号館の基盤を目にする事ができた。

学生への期待

研究室紹介の文章によれば、研究とは「未知の問題に対して解決への道筋を立て、試行錯誤を繰り返しながら徐々に道を切り開き、最も有力な答えを探り出すこと」という。

たくさんの積み重ねが次の新たな発見につながる。「おいしい」「おもしろい」直面する問題ひとつひとつに正面から向き合うことだとも言われる。

考えれば当たり前のことだが、納得できる言葉であると受け取った。先生のインタビューで思ったことは研究内容も研究姿勢もどれも前向きで力強い発言が多いことだ。先生や助教、学生さんたちのひたすらな努力が学問・物理の力強い進歩を後押しして、さらには私たちの身近な生活にも貢献する日がきこえるであろう。

(清水 正)

余白

落語家の某師匠は、テレビで自身の生い立ちをユーモアたっぷりに話していました。洋服屋を営んでいた師匠のご両親は、多忙だったので多くの人に助けられて子育てをしていたとのことでした。近所のおじさんの膝の上で夕食を食べ、兄や姉に遊んでもらい、悪さをすると近所の人に叱られ、祖父祖母に愛がら

ため延期をして先生への訪問日を設定したものの、訪問日には念願かなって好天に恵まれ、鋭意建設中の新1号館の基盤を目にする事ができた。

人間の寿命は、五十年と言われていました。今やそれが延びて百年です。驚いたことに、ホモ・サピエンスの生物学的寿命はもっと長く百二十年程度だといわれています。子育て期間を二十年程度とすると、人間は子育てが終わった後の時間、これを余生と呼ぶことにすると、人間には長い余生があります。

人間と異なり、大半の動物は余生がほとんどありません。そのような例として思い浮かぶのは、鯉です。鯉は、川で生まれ、海で成長し、産卵のため生まれた川を遡上します。遡上した鯉は産卵し、その後後に命が尽きます。鯉の寿命は、次世代の命を引き継ぐまでとDNAに書き込まれているのです。鯉に余生はありません。

鳥類や哺乳類はもう少し長い寿命を持っています。これらの動物の子供は成長するのに親の助けが必要です。親は子供が自立して生きていけるまで死ぬわけにはいきません。多くの場合、何回かの出産を経験したあとに寿命が尽きます。DNAには生殖能力が失われるタイミングに寿命設定されているのです。最後の子育てが終わってから命が尽きるまでの余生は、ごく短い期間です。

さらに長い寿命をもつ動物は、群れを作り集団で生活する馬や象といった哺乳類です。象は集団で子育てし、象のおじさんやおばさん、お婆さんが子育てに参加します。親族が子育てに参加する必要がありますので、DNAに書かれた寿命は長めに設定されており、ある程度の長さの余生があります。この余生が子育てには必須です。

私たちホモ・サピエンスは馬や象に比べても特段に長期の子育て期間が必要です。人間は歩行できるまでに数年、さらに生きていくために高度な教育を受けることが必要です。親だけで子育てするのは不可能なくらい手間と時間がかかります。それにもかかわらず子孫を残し続けられたのは、生物学的な仕掛けとして、DNAレベルで長い寿命を獲得し、そこから得られた長い余生を子育てに使うことができる社会システムを構築できたからです。私たちの長寿は子育ての手助けを想定して設定されているのです。

ところが、某落語家師匠が体験したような周りの人の余生を子育てに活用できる社会システムが失われつつあります。日本の少子化の原因の一つはここにあるようです。長い余生を子育ての手助けに使わなければ、

けるまで死ぬわけにはいきません。多くの場合、何回かの出産を経験したあとに寿命が尽きます。DNAには生殖能力が失われるタイミングに寿命設定されているのです。最後の子育てが終わってから命が尽きるまでの余生は、ごく短い期間です。

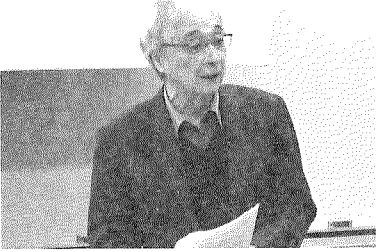
第26回白門物理学会総会

第39期 田中宏

昨年の東京はとても厳しい暑さでした……。それでも10月に入りやつと過ごしやすくなってきたと思っていましたら、1923年以来100年ぶりの11月最高気温更新！ 27.5度だそうす。されば総会の日も過ごし易いのか？ と思つたらまさかの気温急降下15度……。一気に夏から冬に叩き落とされたようです。ほんと珍しい陽気ですね。とはいえ雨が降るかもしれない予報の中で無事に天気は保ち2023年11月11日、第26回白門物理学会総会が開催されました！

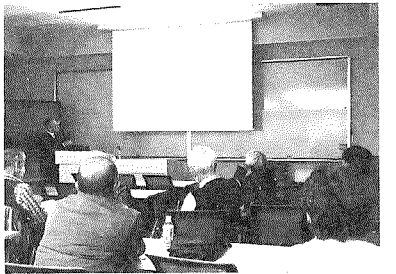
ちょうどコロナによる脅威が下火になって来た事もあり、また1992年から中央大学物理学科で教鞭を取つておられた若林淳一先生のご退職記念講演会という事もあるのでしょうか。総勢40名の方にご出席頂くことができました。司会は例年通り第4期の杉本会長。議長はどうも人前に立つのは慣れないのですが、不肖ながら私が務めさせて頂きました。

白門物理学会総会
日時：11月11日(土)
総会：15:00～(受付は14:30～)
講演会：15:40～
講演者：中央大学理工学部物理学科
名誉教授 若林淳一 先生
演題：量子ホール効果発見とノーベル賞受賞の舞台裏
会場：理工学部3号館3300教室
総会の案内



報告する杉本会長

総会では2022年度の事業報告、2022年度の会計報告、また2023年度の事業計画と予算案が提案されました。事業計画や予算案に大きな変更はなく、無事承認されました事をご報告いたします。また今回は役員の改選が行われました。立候補する方や推薦された方はおらず、全役員が留任することになったのですが、副会長兼会計の河内氏より可能な限り早めに交代にバトンを渡したいという言及がありました。また役員ではないものの本誌第10号より会報の編集長を取り仕切つて頂いている齊藤氏からも、後任へバトンを託したいという要望がありました。白門物理学会も設立から既に四半世紀が経とうとしており、お話を伺いながらこうやって少しずつ変化して行くのだなと感じた次第であります。考えてみるとコロナ禍の傷跡というものは当然ですが、やはり病気のものだけでなく、因果として経済への悪影響、人の活動への悪影響も甚大です。白門物理学会の変化も



若林先生の講演会

また一つの余波なのかもしれません。少し寂しいお話になってしまいましたが、後半は冒頭に触れました2020年に退職された名誉教授になられた若林淳一先生の講演会が開催されました。先生は半導体物理学の研究をなさつており、私も電磁気や固体物理学をご教授頂きました。講演会にはたくさん先生の先生方も参加され、お嬢様に車椅子を引いて貰つてお元氣そうにいらした松本先生をはじめ、松下先生、竹山先生のお姿も拝見できました。題目は『量子ホール効果発見とノーベル賞受賞の舞台裏』です。というのは、1985年ミュンヘン・クリツィング教授が量子ホール効果を実験的に発見した功績によってノーベル物理学賞を受賞しましたが、その際若林先生も既に量子ホール効果の実験研究をされておられ、そもそも量子ホール効果は理論的には日本人が先駆し、1974年安藤・上村氏の論文により予言されていたというのです。ではなぜノーベル物理学賞は先に予言した日本の皆さんでなく、後発で論文を出したクリツィング教授が受賞してしまったのか？その謎が今解き明かされる……！

「白門物理学会」講演会
「量子ホール効果発見とノーベル賞受賞の舞台裏」
若林淳一
日時：2023年11月11日(土)
講演会の案内

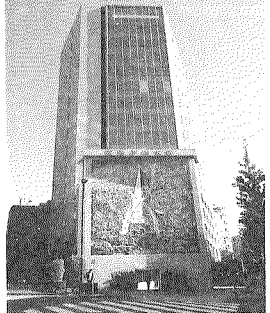
まずは量子ホール効果についての復習から。む、難しい……電磁気や固体物理学は苦手です……。個人的な感想はさておき、その後は先に触れた理論的な予言から始まるクリツィング教授の実験的な発見。その成果から導かれていく1990年の有名な標準抵抗値フオン・クリツィング定数の制定など、半導体による私たちの豊かな生活の礎となるお話をご講義頂きました。あれ、肝心な舞台裏は……？

クリツィング教授は正確な標準抵抗値の導入による物理学、経済発展への大きな影響を鑑み総合的に見てノーベル物理学賞に足るものだった。若林先生の当時の研究は主に σ_{xy} に関するものでノーベル賞との直接の関連はなかった。とお話でした。

しかし、クリツィング教授は1980年、フィジカルレビューレターに『量子化されたホール抵抗に基づく微細構造定数の高精度な決定のための新しい方法』という論文を発表しています。論文の中には量子ホール効果を予言する論文から取り出されたとと思われる文章があり、引用には安藤・上

歯学の礎、現代につながる

東洋学園大学

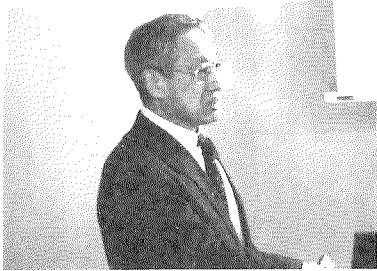


本郷の町のシンボル、巨大なフェニックス・モザイクをもつ東洋学園大学

本郷・茗荷坂通りに沿って巨大な「絵」があることは記憶にあつた。あれはなんだったかを確かめるため訪問するとそこは学園「東洋学園大学」は現代経営学部など3学部と大学院を持つ総合大学である。

珍しい歴史をもつ大学である。1926年に歯科医学の専門学校として発足33年間に約2,800名の女性歯科医師を養成している。50年には女性の自立の手段を英語に替え女子短大となり、3万名の卒業生を生んだ。さらに92年には共学4年制の大学となり、今に至っている。途中津田沼や流山にもキャンパスをおく時代を経て、2018年に都心一貫教育となつている。

建学の精神は「易经」の「自强不息」天体の運行に休みがないように君子は自ら励み続ける。創立者は宇田尚(ひさし)、発足の9年前に歯科医学講習所として授



講演される若林先生

村氏の論文やご講演者である若林・川路氏の論文も記載されていきました。ただなぜか、引用に記載された論文は量子ホール効果の予言がされていた論文ではありませんでした。間違つただけ？理論の論文が先行して存在するのを隠したかった？

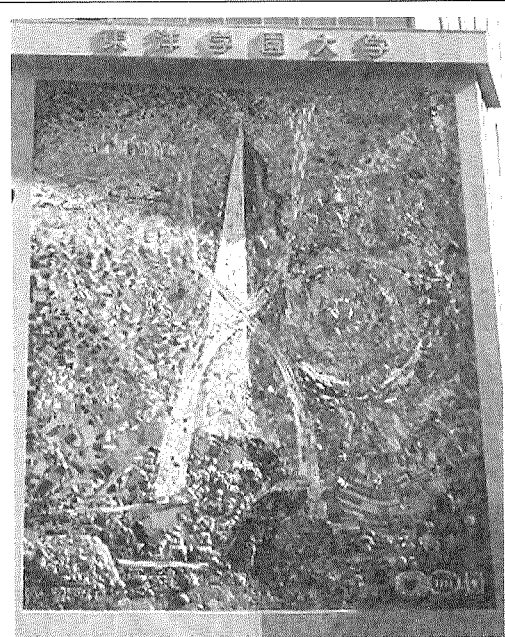
たまたま若林先生がクリツィング教授と同行する機会があり、問いかけてみたそうです。その答えは……『Not my intention』

安藤・上村氏、若林先生や川路氏もクリツィング教授と遜色ない発見や業績をあげていらつしやいます。成果は人々の現在の生活に資することが一番大事な事で、正直に申し上げて優秀

業を開始している。本郷の地に学び舎をたてたのは東京大学を中心とした高等教育の学校が多くあり、また歯学の学校も多くあつたこと、そして教員確保に有利な地・文京を求めた結果であるという。「東洋」の前は「明華」の名称の学校であつた。

この宇田尚氏は1910年に中央大学に進学している。この訪問記を取材の日、史料室を訪ね中央大卒業生であることを自己紹介したとき、室長さんが室内のボード標記について中央大学からアドバイスを受けたとお話をいただき一気に親しみを感じたことを記したい。

文京区の都市景観賞を受け、本郷の街のシンボルともなっている巨大な「絵」。実は陶片モザイクである。1961年、今井兼次氏のデザイン・制作指導によるものでワーズ・ワースの抒情詩より「清らかな星の美しさにも比する岩間がくぐの草花」を表現して育ちゆく女子学生の喜びを表すものという。縦10.9m、横8.8mの巨大なもので



陶片でできているフェニックス・モザイク

あり、制作にあつたのは学生・校友が持ち寄つた陶器で構成されている。

余談ではあるが今井氏は数多くの作品を残しているが最も記憶したいのは長崎市の「日本26聖人殉教記念館・聖フィリッポ教会」である。

歴史を大切にする学園の史料室は学園の歴史をきちんとまとめ、各種史料あるいは現物が順を追って展示されている。各種の歯科器材、校舍写真、そして学生の日記などの展示もあり、46年に書かれた寮の日記に「今まで努力した結果……」との文言があり、立派な学生が育つていった経緯がわかる。落ち着いた史料室だが積極的に外部への公開もあり、私が訪れたのも偶然他所で入手した「東洋学園史料室」という小さなパンフレットが縁であつた。

東洋学園は26年、創立100年を迎える。これを機会としてさらに発展、進歩を祈るところである。往年の歯学教育によって築かれた学園の礎は未永く生かされてゆくであろう。

(清水 正)

第4回理工ホームカミングデー

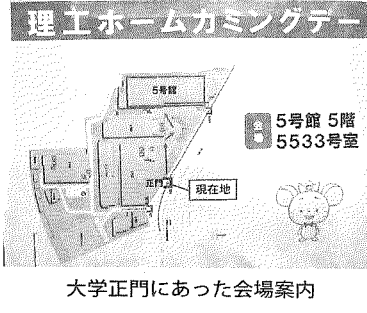
第27期 協田順一

11月4日(土)に後楽園キャンパス5号館5階5533教室にて「第4回理工ホームカミングデー」が開催されました。

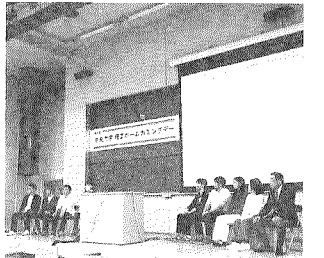
前半の第1部は13時半より校歌斉唱に始まり、理工学部長の梅田和昇先生から来場された理工学部卒業生に挨拶がありました。この4月に法学部と大学院法学研究科が茗荷谷キャンパスに、ロースクールとビジネススクールが駿河台キャンパスに移転したこと、また、体育施設として小石川キャンパスができたことが紹介されました。2大キャンパスが都心に誕生し、今後は後楽園キャンパスの理工学部、茗荷谷キャンパスの法学部、市ヶ谷田町キャンパスの国際情報学部の3学部が連携していくことになるそうです。また、後楽園キャンパスでは新1号館の工事も順調に進んでいて、2023年は中央大学にとって大きな年であったということでした。梅田先生からの挨拶の後、昨年度常任理事に就任された塚原由紀夫氏(本学数学科75年卒、三菱オブリ株式会社前代表

取締役社長)の記念講演会が開催されました。「三愛オブリと航空事業の今昔」をテーマにこれまで企業経営で最も大切にされてきたこと、航空事業に関して社会情勢の変化を受けて茨の道が続いたけれどその度に新しいことにチャレンジし、道を切り拓いてきたことなどが語られました。また、会場の学生からの質問に対しては、日々の積み重ねが大切であること、大学生時代に一般教養を身に付けることでビジネスの世界でバランスの良い判断ができるようになることなど塚原氏の経験が語られ、学生の心に響いたようでした。

後半の第2部は休憩を挟んで15時半より親子二代理工学部卒業表彰が始まりました。1997年に情報工学科を卒業された島海重喜先生(情報工学科准教授)が1970年に工業化学科をご卒業されたお父様と一緒に表彰されました。将来はお父様と息子さんと親子3代表彰を目指されるということでした。続いて、たぐみ同窓会員と在学生によるパネルディスカッションが開催されました。「同窓会変革のためのディスカッション、明日へつなぐ」というテーマで現役の学部3年生から1972年卒の方まで幅広い世代の10名のパネリストが集まりました。物理学科からは山田伊織さん(学部3年)が参加しました。現役生からは先輩と気軽に繋がる場の希望が、卒

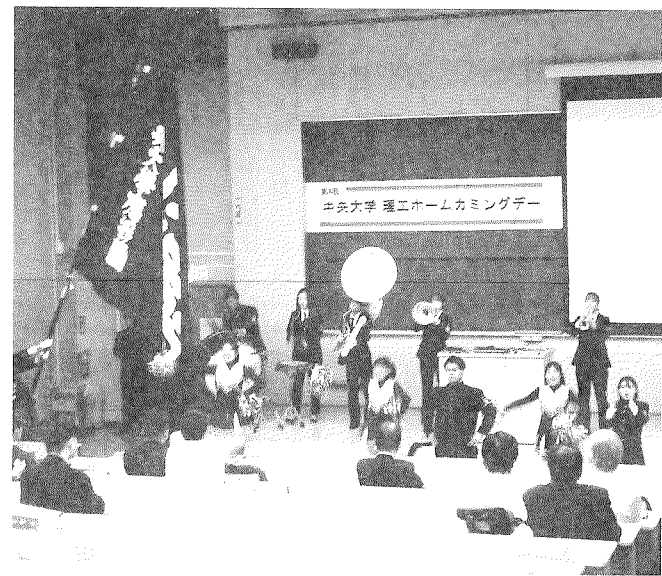


大学正門にあった会場案内



パネルディスカッションの様子

業生からは理工学部として繋がる場の希望などが出され、同窓会に気軽に入れるような環境が必要であろう、という意見が挙がりました。続いて、中央大学応援団のリーダー部、ブラスコア一部、チアリーディング部の3部による演舞が開催されました。迫力と美しさのある演舞は理工ホームカミングデーに花を添えるものでした。17時半を過ぎたところで理工学部教授の榎山和男先生から閉会のご挨拶がありました。



狭い場所にもかかわらず迫力があつた応援団の演舞

挨拶がありました。パネルディスカッションの内容を受けて、合言葉「点を線に！」で締めくくられました。本学卒業生で元ニッポン放送アナウンサーの勝山達志氏のナレーションによる「惜別の歌」の斉唱で、2023年のホームカミングデーは幕を閉じました。

アナウンサーの勝山達志氏のナレーションによる「惜別の歌」の斉唱で、2023年のホームカミングデーは幕を閉じました。

本当に必要な時に使えない!!

第5期 宮内良子

4月半ばに駐車場まで車を降りる際車止めに引っかかり転倒。通りすがりの人に声をかけられるも大丈夫ですと返事をし、痛みを堪えて整形外科へ。診断は両膝蓋骨骨折。左脚のお皿は完全に割れ、右脚のお皿はひび割れの状態。幸いにも左脚の骨折はすれていないので手術無しで即ギプスで、右足は簡易ギプスになりました。さあ大変これから生活をどうしよう、と途方に暮れました。

我が家は車いすの生活には対応していませんので、余儀なく両松葉杖の生活をせざるをえません。日常生活は一階、寝るのは二階です。

我が家の階段は直線階段。幸いにも手すりは片側ですが、降りる際車止めに引っかかり転倒。通りすがりの人に声をかけられるも大丈夫ですと返事をし、痛みを堪えて整形外科へ。診断は両膝蓋骨骨折。左脚のお皿は完全に割れ、右脚のお皿はひび割れの状態。幸いにも左脚の骨折はすれていないので手術無しで即ギプスで、右足は簡易ギプスになりました。さあ大変これから生活をどうしよう、と途方に暮れました。

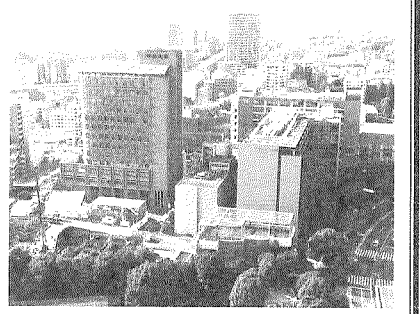
我が家の階段は直線階段。幸いにも手すりは片側ですが、降りる際車止めに引っかかり転倒。通りすがりの人に声をかけられるも大丈夫ですと返事をし、痛みを堪えて整形外科へ。診断は両膝蓋骨骨折。左脚のお皿は完全に割れ、右脚のお皿はひび割れの状態。幸いにも左脚の骨折はすれていないので手術無しで即ギプスで、右足は簡易ギプスになりました。さあ大変これから生活をどうしよう、と途方に暮れました。

我が家の階段は直線階段。幸いにも手すりは片側ですが、降りる際車止めに引っかかり転倒。通りすがりの人に声をかけられるも大丈夫ですと返事をし、痛みを堪えて整形外科へ。診断は両膝蓋骨骨折。左脚のお皿は完全に割れ、右脚のお皿はひび割れの状態。幸いにも左脚の骨折はすれていないので手術無しで即ギプスで、右足は簡易ギプスになりました。さあ大変これから生活をどうしよう、と途方に暮れました。

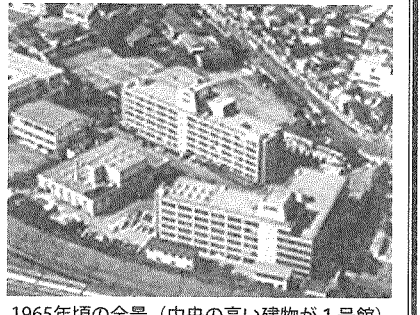
建て替えられる1号館

編集委員会 沈丁花

物理学科の学び舎であり、研究の場であった1号館の建て替え工事が進んでいます。1962年に物理学科を含む3学科を加えて理工学部となったときの建物は2011年には1号館だけとなっていました。



理工学部全景(中央が1号館、左下が工事現場)



1965年頃の全景(中央の高い建物が1号館)

物理学科も2025年度から新しい1号館に移り、その後建物は解体される予定です。現在の1号館に立ち入ることができるのは今年いっぱいとなりますので、ぜひ一度訪れてみてはどうでしょうか。



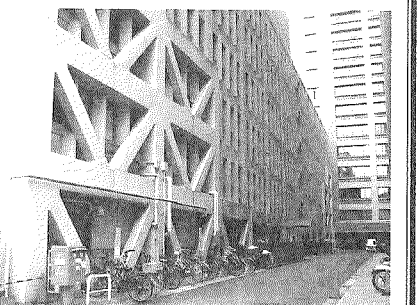
どこでしょう?(編集後記参照)



廊下



南側(2007年頃耐震補強されている)



北側(2007年頃耐震補強されている)



工事が進む新1号館(3号館から見る) 背景は文京区役所や後楽園遊園地など

茗荷谷キャンパス、訪問記

第4期 寅次郎

令和五年四月、名門中大
法科の復活を目指す法学
部が八王子から茗荷谷の新
キャンパスに移転して来る
と知り、機会があれば是非
この目で見てみたいものだ
と思っていた。



法学部の建物外観

やがて夏の猛暑が去り初
秋に差し掛かった頃、白門

物理学会開催の葉書が舞い込
んだ。これは丁度良い機会
と私は先に茗荷谷に寄りそ
の足で後楽園に行く事に決
めた。

十一月十一日のつくばは
急な冷え込みで、私は防寒
具を纏い嬉々として茗荷谷
に向かった。改札口を出て
五十Mほど歩くと真新しい
八階建ての建物が見えて来
た。周辺には(旧)筑波
大とお茶の水女子大もあり
この立地と便の良さには驚
く。十五年前に娘を尋ねて
来た時はこの辺りにはこれ
程のビルは無かった気がす
る。これも大学と同じに他
でも都心回帰の力が働いて
成ったのかも知れない。そ
れにしても、こんな二等地

にこんな立派な校舎である。
私はそこに中大の並々なら
ぬ意気込みを見た。

建物に入っただけで目に
付いたのはスタバのカフェ
であった。それを横目に見
て奥に進むとテーブルが随
所に並び素敵なロビーへと
変わる。其処では既に何人
かの人が座り談笑してい
た。これが一階で見る私の
第一印象であった。しかし
今日の私の目玉は学生食堂
にあった。地下に降りると
今日のお勧めはマールボウ豆
腐と豚の生姜焼きであった。
私は味噌汁付きのマールボウ
に決め、五百三十円の支払
いを見渡すと一般客の姿も
見え休日の所為か空席も目
立つ。ふと向こうから、物
理仲間のOK君の姿が見
え、私は手を上げ彼に合図

ふるさととは遠きにありて思ふもの

第11期 植田悦子

50年ぶりに東京から故郷
(川崎)に戻ってきた。でも
別。別に差し迫った事情も
強い望郷の念もあつた訳で
はなく、リタイア後の住居
を探してたまたま実家の近
くに見つけただけです。我
が家は車を持たないので、
住い探して一番重要なのは
交通利便性、移動手段の確
保です。ここ高崎は鉄道の
便が良くバスも駅を基点に
発着しています。駅まで行
けば日常必要な買い物や
出に不自由しません。とは
いつても地方は車社会です。
安くて便利な大型スーパー
や量販店、食事処などは
車前線の立地ですし、地元

のちよつとした見所も車無
しではまず無縁です。でも
まあ、時間と足とネットを
使えば、不自由はしないし
代わりの楽しみもあります。
さて、必要な足が確保で
きれば、地方でも東京でも
リタイア後の行動はあまり
変わりません。地域経済の
活性化(になるといいなあ)
とローカル鉄道・バスの積
る赤字解消を(ちよびつと)
目指し、せつせと(月2・
3回)近隣の低山歩きや旅
行に行きます。また、興味
ある展示・公演・イベント
等を見つけては、友人と誘
い合つて出かけます。ここ
で「講演」が入らないのが、
東京と違うところです。無

いのです。高齢者が行ける
科学系の講演や講座が。東
京では気軽に聞きに行ける
科学情報的一般講演や有料
講座があつたのに、こちら
では郷土史か地元出身の文
学者の話ばかりです。たま
に面白そうな講座が有って
も中高生対象か45歳以下
対象(キャリアアップ用?)
で、高齢者は相手にされま
せん。年寄りに理系はいな
いと思つてゐるのか!!いや
や(少年科学館の)プラネ
タリウムに行けば、6割は
高齢者で1割はその付き添
いですよ。例え、そのプロ
グラムの大半が電話館並み
であつても、一応理科でしょ
う。ということ、今の私
にとつて白門物理の講演だ
けが救いです。来年も楽し
みにしています。



5階ラウンジのスナップ写真

した。やがて彼は三百八十
円のカレー持参で合流し
た。思つたよりも良い味で
この物価高の中でこの値段
なら充分に合格といえる。
五階に落ち着いて話せる
ギャラリがあるの知りそ
ちらに向かう。フロアには
机が並び自由に座れて六法
全書を広げている学生も居
る。四階には図書館もある
筈なのに、彼等は此処の
方が居心地が良いのだろ
うか。我等も周りを見渡し
窓際に席をとり一息ついた。
広い窓からは遠くが見渡せ
た。何よりも此処は静かで
良かった。随分と話し込ん
だ後に腰を上げて奥の方へ
足を運ぶと少人数教室での
授業が覗けた。辺りを見
渡しながら思つたのは、私
の予想と違つて教室も含め
建物の造りがモダンな事
であつた。この光景は是非記
録に残さねばとその様子が
分かる角度で二人のスナッ
プ写真を撮つて貰つた。我
ら爺の頼みに応じてくれた
優しい女学生には感謝で
あつた。

気が付けば時計は既に三
時を回つてゐた。少しお名
残り惜しいが白門物理学会
の会場となる後楽園校舎へと
急ぎ足で向かう。
(2023・11・12)

会費納入について(お願い)

会員の皆様には白門物理会の活動にご協力を頂き厚くお礼申し上げます。
今後も継続して活動が続けることができるよう、引き続き会費納入を宜しくお願い
致します。

毎年の会計報告でもお分りの通り、年々繰越金が減少しています。
会員の皆様からのご寄付も歓迎しますので、同様に宜しくお願いします。

- ①直接納入
「総会」「白門物理の集い」等に出席の際、会計担当が承ります。
- ②郵便局からの振込み
振込手数料を白門物理会が負担する払込取扱票をお送りしますのでご利
用ください。会が負担する振込手数料は、窓口では203円かかりますが
A T Mだと152円と51円少なくできますので、A T Mからの振り込みに
ご協力をお願いします。
- ③銀行からの振込み
三菱UFJ銀行 久米川支店(店番231)
口座番号: 0691988(普通預金)
名 前: 白門物理会
会費は会則により年間3千円となっています。尚、3万円を一括納入されたとき
は「終身会員」となり、以後の会費が免除されます。

編集後記

元旦からの3日間は実業団駅伝と箱根駅
伝をテレビで観戦・応援するのがここ数年
の過ごし方でしたが、今年は能登地方の地
震、続けて羽田空港の飛行機事故がありま
した。地震でお亡くなりになられた方々のご
冥福をお祈りするとともに、被災された皆様
の1日も早い復興を祈るばかりです。飛行機
事故ではスタッフと乗客の冷静な対応と連
携で全員が助かりました。これらの出来事
を他人事と思わず、改めて自分自身や周囲
の見直しを進めたいものです。
会報の第26号を発行しましたのでご覧
いただければ幸いです。1号館が建て替わる
ので1号館の写真を載せました。渦巻のよ
うな写真は、エレベータ前の吹き抜けにある
螺旋階段を下から見たものです。このような
アングルで見られた方は少ないのではない

でしょうか。
現在の建物の中に入れるのも今年限り
と聞いております。都合がつけば見納めに訪
問されてはどうでしょうか。研究室は別にし
て、キャンパスや建物内の廊下などを見て
歩くことができます。
【編集委員】
編集委員長 8期 齊藤 守夫
委 員
会長 杉本 秀彦
1期 篠田 彬 4期 佐々木 文三
5期 宮内 良子 7期 鈴木 立夫
7期 中村 裕介 8期 倉繁 正和
13期 飯島 章男 18期 吉川 秀雄
27期 脇田 順一 39期 田中 宏
40期 照井 雄一朗 41期 菅原 泰晴
編集顧問 清水 正(法学部卒)

会計報告

2022年度会計報告

期間: 2022年10月1日~2023年9月30日

		(予 算)	(決 算)
収入の部		1,781,104	1,894,116
会費	終身会員会費(1名)	0	30,000
	通常会員会費(16名)	30,000	48,000
雑収入	寄付、利息等	0	65,012
繰越金		1,751,104	1,751,104
支出の部		327,000	208,611
総会費	謝礼等	60,000	50,000
会報費	印刷費	100,000	88,000
通信費	案内状送料等	100,000	59,952
企画補助	HP、講師謝礼等	50,000	3,523
備品費	ゴム印等	5,000	0
消耗品費	事務用品等	5,000	0
事務経費	振込手数料他	7,000	7,136
残高の部		1,454,104	1,685,505

会 費: (終身会員) 山田博之(53期)、(通常会員) 亀井泰明(7期)、
浅見航平(59期)、中北晴久(7期)、阿部寛(19期)、井原太一(15
期)、磯田基嗣(11期)、丞村宏(11期)、本村謙行(11期)、
美保哲夫(12期)、井上諒大(59期)、根本保寿(7期)、杉原哲朗(35
期)2年分、児玉裕希(54期)、松原利明(7期)、和田直人(5期)
雑 収 入: 幹事会・懇親会等からの寄付、利子、利息及び個人寄付、
齋藤好雄(先生)、清国一利(7期)、井原太一(15期)、若林学(1期)
(終身会員の方の会費納入を寄付とさせていただきます)
大島智晃(20期)、吉武寛時(21期)、長利哲治(8期)、榎本雅人
(20期)、影山昌秀(15期)、萩原和弘(17期)、川又幸夫(17期)、
水見昭(1期)、(以上敬称略) 会計 河内麻起子(第11期)

2022年度会計監査報告

①監査執行日	2023年10月11日
②監査項目及びその状況	帳簿、証ひょう類、現金、預貯金とも正確である。
③その他事項はありません。	会計監事 倉繁正和(第8期) 会計監事 菅原泰晴(第41期)

2023年度予算案

期間: 2023年10月1日~2024年9月30日

		(予 算)
収入の部		1,715,505
会費	終身会員会費	0
	通常会員会費	10名 30,000
雑収入	寄付、利息等	0
繰越金		1,685,505
支出の部		327,000
総会費	謝礼等	60,000
会報費	印刷費	100,000
通信費	案内状送料等	100,000
企画補助	HP、講師謝礼等	50,000
備品費	ゴム印等	5,000
消耗品費	事務用品等	5,000
事務経費	振込手数料他	7,000
残高の部		1,388,505

会計 河内麻起子(第11期)